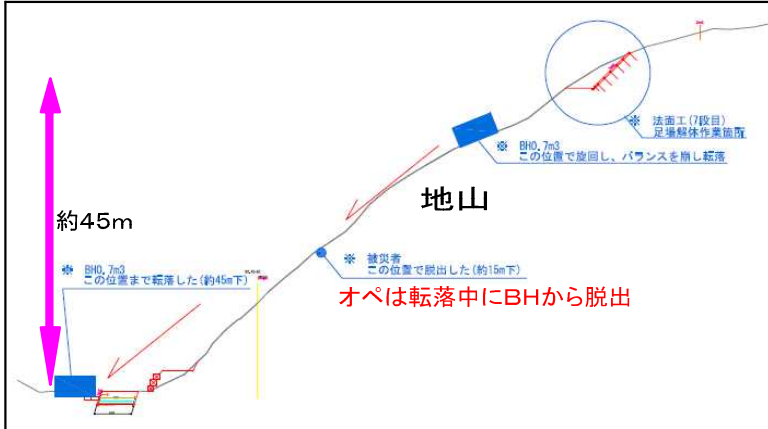


## 法面上で作業中のバックホウが45m下に転落!!



### ■ 事故概要 ■

法面上で、アンカー工の足場を解体作業をしていたクレーン機能付BHがバランスを崩し、約45m下に転落する事故が発生しています。

法面上で、不安定な姿勢で吊り作業していたことが転落の大きな原因ですが、事故発生時はクレーンモードをOFFにしていたため、労基から「是正勧告」が出ています。

### ■ 被害の程度 ■

クレーンオペ 腰椎骨折、頸椎損傷  
(全治3週間)



### ★ 再発防止対策案 ★

今回の事故は、安全性を十分検討せずに法面上でクレーン作業を行ったため、0.5t程度の荷しか吊っていないにもかかわらず転倒したものであり、以下の対策が必要だったと考えられます。

- 解体作業であっても施工計画をしっかりと立て、重機を不安定な状態で使用しない。
- クレーン機能付きBHで吊り作業を行う際にはクレーンモードスイッチの確認を行う。

## さく道設備の手直し作業中に転落し重傷!!

### ■ 事故概要 ■

資材運搬用のさく道設置作業で、ワイヤーがハイキング道に垂れ下がるのを防止するための防護柵(H鋼製、逆さ2.4m)の上で手直し作業をしていたところ、バランスを崩して地面に転落した。当該作業にあたり、足場・親綱といった設備は無かった。

### ■ 被害の程度 ■

作業員 外傷性くも膜下出血、頸椎棘突起骨折  
(全治1年)

### ★ 再発防止策案 ★

手直し作業は足場等が撤去された状態で行う事があるため、安全を十分確保せず作業を行うことが考えられますが、短時間の作業であっても安全帯を着用して作業を行う必要があります。また、高所とはいえ高さが2.4mしかなかったことも安全対策を軽視した原因のひとつと考えられます。高所作業に限らず、現場で同様のことが行われていないかチェックをお願いします。

- 2m以上の作業場所では安全帯を使用する。

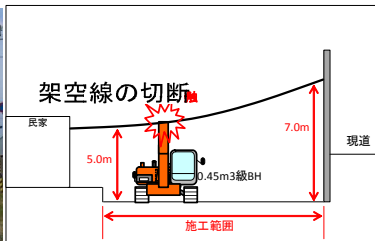


# 架空線切断事故・地下埋設物(水道管)破損事故が発生しています

## ■事故概要■ (架空線切断)

架空線切断事故は、現場内を横断していたNTT線の下をBHがアームを上げて通過した際に引っ掛けたもので、NTT線は**防護・三角旗の措置をしていませんでした。**

■被害の程度■ 民家1件NTT不通 約5時間



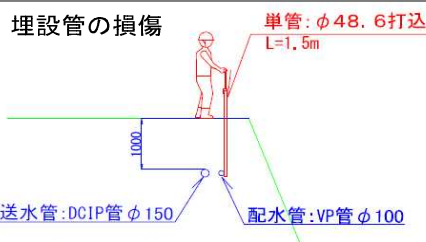
「架空線の切断は、大半が以下の原因により起こっています。」

- 架空線の管理者と協議せず、防護・明示等の対策をしていないため、BHオペ等が気付かず切断する。
- 現場においてBHが移動する際にアームを上げた状態で移動し、切断する。

## ■事故概要■ (埋設管破損)

水道管破損事故は、試掘を行い水道管の位置を確認しているにもかかわらず**明示せず埋め戻した**ため、後日仮設の単管を地面に打ち込んでいた作業員が損傷させたものです。

■被害の程度■ 断水等は発生せず



「埋設管の破損は、大半が以下の原因により起こっています。」

- 埋設管管理者との立会による管位置の確認を実施していないため、管の存在に気付かずに掘削、破損する。
- 管の試掘時に、図面上の埋設深さまでBHで掘削していたところ浅い位置に埋設されていたため破損する。
- 試掘により確認した管の位置を明示せず埋戻したため、他の作業員が知らずに破損する。←(最近多いです)

# これら「架空線」「埋設管」の事故は、「事故重点防止対策項目」に位置付けているにもかかわらず一向に減る気配がありません！！

今一度、各現場において適切に対応されているか確認をお願いします。

## 横断歩道橋の塗装作業中に塗料が飛散

### ■事故概要■

横断歩道橋の塗装作業(ローラー塗り)中に塗料が飛散し、一般車両にかかる事故が発生しています。

作業は現道を車線規制しながら高所作業車を使って行うため、強風がある時は垂れた塗料がとなりの車線を走行している車にかかる恐れがあり、注意が必要です。

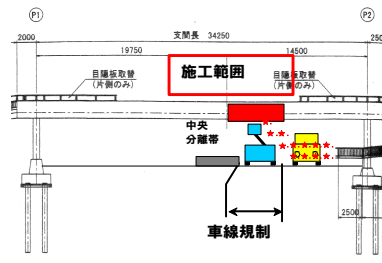
■被害の程度■ 一般車両(1台)に塗料付着

### ★再発防止策★

本件は事故としての処分はされませんが以下の再発防止が考えられます。

- 作業員は塗料が飛散しないよう注意して作業を行う。
- それでも飛散する恐れがあれば、シート等で飛散防護対策を行う。

(当たり前のことですが、意識してしっかり防止策を実施してほしいと思います)



## 10月1日～7日は「全国労働衛生週間」です

(主唱：厚生労働省、中央労働災害防止協会)

～平成25年度スローガン～

## 「健康管理 進める 広げる 職場から」

- 事業場における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層促進を図りましょう。